



1981年金沢での
第30回日本育種学会で
ノーマン・ボローグ博士
(1970年度ノーベル平和賞受賞)
と稲塚権次郎

世界の小麦を
育てた
日本人の物語



映画

「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

映画「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

世界の小麦を育てた日本人の物語

「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

1960年代、世界の食糧危機が起こった時、インドやパキスタンの人々を飢えから救った小麦があった。その小麦の基となったのは「NORIN TEN」（小麦農林10号）と呼ばれた、日本人が育種した小麦だった。「NORIN TEN」を作ったのは、育種家稲塚権次郎（1897～1988）。今から80年前、昭和10年岩手県立農事試験場で育てられたのである。この物語は、今では世界の小麦の70%以上の基となった「NORIN TEN」の育種者 稲塚権次郎の愛と苦悩と葛藤を描きます。そして大正から昭和に至る時代背景とふるさと（現在 富山県南砺市）の美しい自然が舞台となりました。

映画「NORIN TEN ～稲塚権次郎物語」

あらすじ

仲代達矢



松崎謙二



野村 真美



益岡 徹



藤田弓子



舞川あいく



明治末期、富山県城端町の貧しい農家の長男に生まれた権次郎は、向学心に溢れ、富山県立農学校（現在の南砺福野高校）を首席で卒業。「種の起源」（ダーウィン著）と出会う。農家を救うためには、美味しくて収量の多い米を作ることが必要、東京帝国大学農学実科に進学。大正7年農商務省に入り、秋田県大曲にある陸羽支場で、「陸羽132号」そして「水稻農林1号」の育種に取り組む。権次郎は生真面目な性格で、周囲に溶け込めなかった。上司の永井の勧めで「謡」を習い、生涯の伴侶と

なる佐藤イトと出会う。一目ぼれした権次郎は、ふるさと西明で祝言をあげた。大正15年、突然岩手への転勤を命じられる。岩手は小麦の育種が主流、稲の研究成果は、新潟農事試験場の並川に受け継がれ、「水稻農林1号」は「コシヒカリ」となる。稲の育種の機会を奪われた権次郎だが、小麦増産が国家的プロジェクトと知り、岩手県農事試験場に移り次々と小麦の新種を開発。昭和10年秋、小麦農林10号 = NORINTENが完成した。特色は半矮性、従来の小麦に比べ、背の低い品種で穂が倒れにくく、栄養が行きわたりやすかった。昭和13年、権次郎は華北産業科学研究所（北京）に異動。イトも同行した。昭和20年、敗戦、中国側の意向により、2年間留め置かれた。戦争末期の混乱から、イトが精神的に錯乱を起こした。昭和22年秋帰国。権次郎はイトとの穏やかな生活を選び、金沢に赴任した。定年後は地元の農家のために、圃場整備に力を注いだ。昭和50年頃、思いがけない知らせが届く。「小麦農林10号」の種が戦後米国に送られ、世界の食糧危機を救う基になったのだ。昭和48年最愛の妻イトが亡くなると、野焼きで見送った。「妻イトには中国で大変な労苦を掛けてしまった」と悔やんだ。昭和56年、ノーマン・ボーローグ博士と対面。世界の小麦を変えた二人が手を握り合った。昭和63年12月7日、稲塚権次郎死去。享年91

映画「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

【スタッフ】

監督・脚本 稲塚秀孝

プロデューサー 吉川愛美

映像監督 中堀正夫 音響監督 菊池正嗣

撮影 三浦貴広 照明 笹川 満

録音 内田丈也 編集 矢船陽介

選曲 塚田益章 音響効果 壁谷貴弘

美術 木村光之 装飾 飛島洋一

音楽 P.P.M 林 久美子

主題歌『ユメオイビト』作詞・曲 森 恵

cutting edge

後援 富山県 南砺市 北海道 岩手県

秋田県 江別市 苫小牧市、北見市

製作 「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

製作委員会

制作 タキオンジャパン

© 配給 アークエンタテインメント

「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」製作委員会

映倫:120339

1 1 0 分

キャスト&スタッフ

【キャスト】

仲代達矢

松崎謙二 野村真美

藤田弓子 舞川あいく 益岡 徹

長村航希 村上新悟 神林茂典 平田康之 本郷 弦

鎌倉太郎 川村 進 鈴木 豊 平井真軌 大塩ゴウ

加藤裕人 仲田育史 森石晃司 坪内 守 円地晶子

渡辺 翔 井手麻渡 南 千尋 杉本凌士 早川純一

永野典勝 菅原あき 小宮久美子 中山 研

浜口タカシ 山下明人 ジョン・コールドウエル

Vaseem Ahmad Dehlvi

【監督プロフィール】

稲塚秀孝

1950年北海道苫小牧市生、中央大学文学部
哲学科卒。1973年からテレビ番組製作を始め、
現在 株式会社タキオンジャパン 代表取締役。

記録映画：

「二重被爆」(2006年)

「二重被爆～語り部・山口疆の遺言」(2011年)

「フクシマ2011～被曝に晒された人々の記録」
(2012年)

「書くことの重さ 作家 佐藤泰志」(2013年)

「仲代達矢”役者”を生きる」(2015年・上映中)

映画「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

出演者のことば



仲代達矢

映画が美しい。風景が美しい。稲塚権次郎は目的があって夢を持って歩いている人は美しいですよ。農業の美しさ、田んぼが真四角に区切られて、日本独特の美しさですね。特に今の若い人に知ってもらいたいね。かつての日本は、戦争なんて変なものがありましたけど、人間は美しかったんですよ。だから「NORIN TEN」はやっぱり美しい映画なんですね。人間は、生まれて、生きて、死ぬわけでしょ。生きてる間に夢をぶつける人間が一番幸せだと思います。



松崎謙二

この映画は単に権次郎さんの業績を表す映画ではありません。愛、情熱、友情そして戦争、人間に関わる多くのテーマがそこにあります。権次郎さんはいつも正面から、逃げることなく、粘り強く向き合ったと思います。まっすぐに生きた権次郎さんの生涯を感じて戴ければと思います。

野村真美

初めての富山県・南砺市の撮影でした。大きな空と大地。温かな地元の方々との交流。大自然溢れる中での撮影は、生涯忘れることがないほどの思いを胸に刻むことができました。その思いと共に、この映画が世界に羽ばたく事を願っています。この作品と出逢えたことに感謝しています。またいつか南砺市に帰って来たいと思います。

映画「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

劇場案内

劇場名	公開日	終了日	電話
シネマアイリス（函館）	4月8日～		
ロサンゼルス日本映画祭	5月14日		
ニューヨーク・日系人会	5月17日		
メキシコシティ・CIMMYT	5月19日		

※全国公開情報はウェブサイトをご覧ください。

www.norinten.com

※ FACEBOOKは、
www.facebook/norinten

後援：農林水産省、富山県、北海道、南砺市
岩手県、秋田県、茨城県、江別市、苫小牧市他

